

高校生物教科書を考える ～「分解者」を題材に～

日時 2020年10月31日(土) 午後2時～4時
話題提供者 金子信博氏
(福島大学農学群食農学類 教授)



次期学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」が言われ、「教科書の内容を教師が一方的に教える」スタイルの変容が求められています。

「主体的に考え」「議論に積極的に参加し」その結果として「深い学び」につながる題材の一つとして「分解者」を取り上げたいと思います。教科書では、以前は「分解者≒細菌・菌類」と定義されていましたが、現在、その定義はあいまいな形になっています。分解者とは?みんなで考えてみませんか。

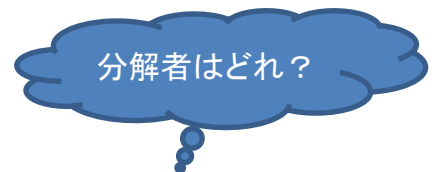
金子信博氏の専門は土壌生態学。「土の健康を維持するためには、私たちが常識だと思ってきたことを見直す必要がある」と言われています。物質循環やSDGsにも議論を広げ、高校生物ではどんな学びが必要かについても考えてみたいと思います。

※参加費 無料

※参加定員 30名

※申込方法 グーグルフォームから →
お願いします。

URL <https://forms.gle/Q4FATkA16UtR3mcP9>



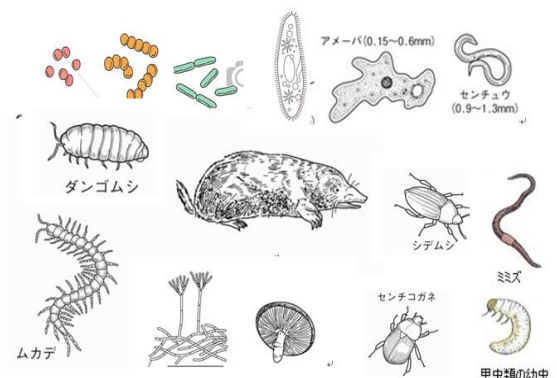
※参加者には、10日ほど前に資料配布を行い、簡単な宿題を出します。グーグルフォームで回答をお願いします。

※参加者には、2日ほど前に、ズームミーティングIDとパスコードをお知らせします。

※問合せ先：中道貞子（生物教育研究所・研究員）

teikonakamichi@hotmail.co.jp

電話：090-5367-9778



主催 生物教育研究所

【註】生物教育研究所について

生物教育に関わるさまざまな活動を行っている生物教育者(主として、フルタイム勤務を終えた者)で構成されている研究機関。研究員は、それぞれが関心のあるテーマについて研究活動や啓蒙活動を行っている。

所長:片山舒康(東京学芸大学名誉教授)